

奈良県議会議員 さいとう 有紀

YUKI
*I never give up on the future
of Goro City.*
SAITO

活動報告 vol.2024 AUTUMN



五條市の未来を あきらめない NEWS

過去例の無い猛暑日が続いた日々

令和6年は「最も暑い夏」となり、連日猛暑日が続いた日々となりました。背景として、7月と8月ともに偏西風が北へ蛇行し、暖かな高気圧に覆われやすく日ざしが強まったうえ、特に7月は太平洋高気圧が西日本に向かって強く張りだしたことが影響したと考えられています。また、近年の地球温暖化や、日本近海の高い水面温度も影響している可能性がありますとのことです。

奈良県議会においても、夏から秋にかけて大変「暑い」時期になりました。6月及び9月定例会において様々な審議が行われましたが、気候に負けない「暑い」議論が展開されました。さいとう有紀が本定例会で質疑及び要望を行った事項を要約したものが下記のとおりとなります。

- 1 五條市県有地の防災拠点整備計画及び維持管理に関して（総合防災対策特別委員会）
- 2 地震による盛土等の安全性及び土砂災害発生時に対する避難所を確保するための促進事業について（建設委員会）
- 3 令和5年度決算内容に関連する部門別質疑及び要望（決算審査特別委員会）

また、日常より様々な県部局と打合せを行わせていただいております。その中において様々な課題があり、長期的に実現していくべき施策と即効性を持たせるべき施策の選別に悪戦苦闘している日々でございます。県民の皆様の一助となれますよう、今後も活動してまいります。

高藤有紀活動報告は可読性・視認性・判別性に優れ、年齢・性別に関係なく、ストレス少なく読んでいただけることを考慮しユニバーサルデザインフォントを採用しております。



1984年6月15日生まれ

【略歴】

智辯学園高等学校卒業
京都女子大学文学部国文学科卒業
五條市議会議員

【家族】

夫、息子2人

【所属党派等】

自由民主党・無所属の会
関西若手議員の会 所属



“SNSでも想いを発信”



さいとう有紀

発行：さいとう有紀事務所
〒637-0014 奈良県五條市住川町220-1ヒルトップSUGAWA A号室
TEL.0747-24-3110 FAX.0747-25-3333

令和5年度 奈良県決算結果からみる奈良県の財政状況について

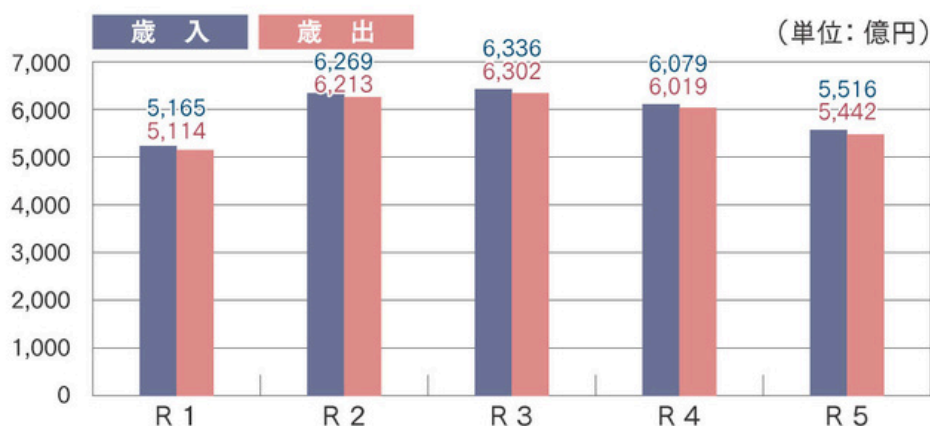
①令和5年度 奈良県決算全体概要

(単位: 百万円)

区 分		令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
最終予算額	Ⓐ	647,460	713,528	△66,068	△9.3%
歳入決算額	Ⓑ	551,600	607,892	△56,292	△9.3%
歳出決算額	Ⓒ	544,207	601,899	△57,692	△9.6%
収支差引額 (Ⓑ-Ⓒ)	Ⓓ	7,392	5,993	1,399	23.3%
翌年度繰越額	Ⓔ	33,107	55,643	△22,536	△40.5%
うち繰越財源	Ⓕ	2,521	3,187	△666	△20.9%
実質収支 (Ⓓ-Ⓕ)	Ⓖ	4,871	2,806	2,066	73.6%

- 歳入(県の収入)は **5,516 億円**
- 歳出(県の支出)は **5,442 億円**
- 実質収支(県の黒字・赤字区分の指標)は **49 億円の黒字**

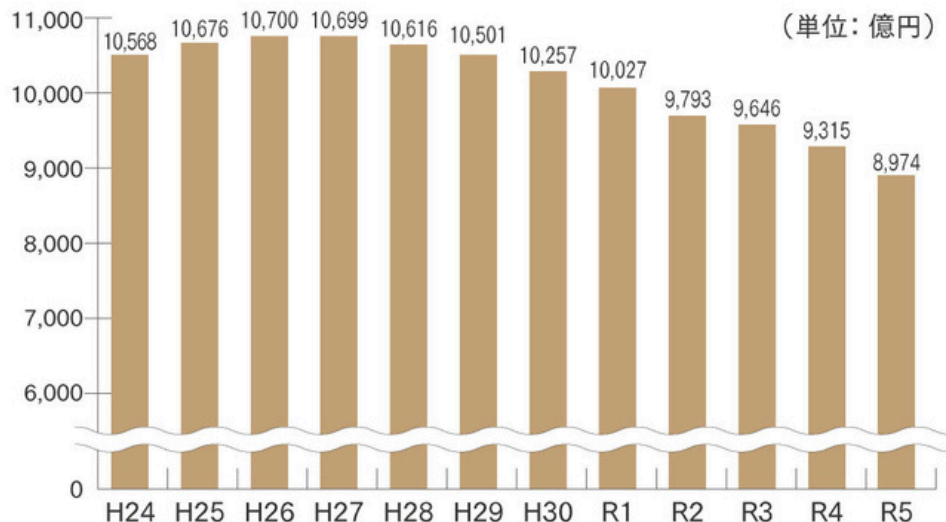
※令和5年度に国への返還を予定していた令和4年度の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」の超過受入分 **33 億円** が不執行となった影響含む。



純粋な実質収支は
16 億円の黒字

②令和5年度 奈良県県債残高総額

(単位: 億円)



- 令和4年度県債残高は **9,315 億円**
- 令和5年度県債残高は **8,974 億円**

県債減少額は
341 億円

※県債とは、県が発行する債券 (いわゆる借入金)

上図①②は令和5年度の奈良県の決算結果及び県債残高総額を図表化したものです。さいとう有紀は県の財政体力を評価するうえで、

1) 実質収支の黒字化 2) 県債残高の減少 をセットで見えていく必要があると考えています。

奈良県は平成27年度決算から令和5年度決算までの9期連続で実質収支の黒字化及び県債残高の減少をセットで達成されています。また、交付税措置のない(後に国からのお金が入ってこない)県債残高も令和4年度が**3,446億円**であったのに対し、令和5年度では**3,355億円**と**91億円**減少しています。このことから、**前知事時代の県政運営は財政面において適正であった**ことがわかります。

女性活躍のための施策の推進

●令和5年度 奈良県決算における女性活躍のための事業費例

県内における様々な分野で女性が活躍できるよう、奈良県では「こども・子育て支援の充実」及び「女性活躍の推進」を目的とし、令和5年度では下記の決算内容となりました。

女性活躍推進費	奈良っ子はぐくみ費	女性センター費
7億9,000万円	103億3,000万円	1億600万円
子育て推進や少子化対策、女性が活躍できる環境づくりなどに関連する事業費	認定こども園の負担金・補助金や子育て支援、児童手当の給付などに関連する事業費	女性の就職支援、性暴力被害支援などに関連する事業費

※当該年度決算実施額を示す。百万円以下は四捨五入。



令和5年度では約112億円が女性活躍推進関係で費用が投じられましたが、このうち認定こども園などの負担金等や児童手当及び児童扶養手当の給付に約84億円を要しており、女性が様々なフィールドで活躍できるよう多様な方法で県が補助する額としては実質10億円程度となるため、まだまだ不十分ではないかと考えます。

●取り組まなければならない課題の抽出と対策について

近年、女性の就業率は上昇しており、**15~64歳の女性就業率は72.4%(令和4年度)**となっています。このことから、女性の社会進出は確実に進んでいますが、奈良県議会議員の立場から、就業率や社会進出を加速させていくためにはどのようなアプローチを行えば効果的なのか、現在議論を進めています。その中において、**あらゆる職種において公平性を担保する必要がありますが、職種によっては性別により向き不向きがあるのも事実です。また、女性活躍を押し進めるあまり、逆に男性に対して不公平感のない施策にする必要もあります。**このような様々な問題を一気に解消することは非常に難しいと思いますが、県の女性局などとしっかり議論し、少しずつでも改善できるような施策を検討してまいります。



令和5年度 奈良県歳入歳出決算の不認定について

9月定例会(本会議、決算審査特別委員会)において、令和5年度 奈良県歳入歳出決算が不認定となりました。さいとう有紀は決算審査特別委員会において、以下の内容を知事に質問及び要望いたしました。

さいとう有紀から
知事への
質問や要望

- 1 実質収支の黒字化及び県債残高の減少に対する知事の感想
- 2 事業執行停止と実質収支の関係性
- 3 事業執行停止により失われた経済効果や安全性等に対する知事の所見
- 4 今後の奈良県の歳入歳出額の規模について
- 5 財源確保にむけた知事の取り組み方
- 6 大規模広域防災拠点整備事業の優位性及び県政に対する要望

また、自由民主党・無所属の会、公明党、立憲民主党の議員の皆様から、知事の事業執行停止を行う際の進め方について「方法・情報収集・代替案において県民の皆様に対し混乱と多大な負担をかけるリスクが大きい」との意見があったため、同会派では決算内容について不認定とする決断をいたしました。

さいとう有紀の不認定に至った理由としては、決算数値そのものについて不認定というのではなく、プロセスや事業執行停止による効果が知事の会見時の数値と大きく異なり、その執行方法が不適切かつ不明瞭である部分が多分にあると判断したためです。

今後も様々な課題が発生すると思いますが、客観性を担保した合理的な判断を行えるよう、精進してまいります。



第1回 斎藤有紀 県政報告会の実施

令和6年8月4日に、斎藤有紀 県政報告会を五條市上野町のシダーアリーナにて開催させていただきました。400人を超える皆様にご参加していただき、県議としての活動や想いを言葉足らずであります但伝えさせていただきました。まだまだ若輩者ですが、皆様のお役にたちますよう研鑽していきます。



下記のQRコードから録画配信をご覧ください

決算特別委員会
(知事問)



建設委員会



総合防災対策
特別委員会



斎藤有紀のその他の
委員会質問

